

第 8 3 回国民スポーツ大会
渋川市実行委員会
設立総会・第 1 回総会



日時：令和 8 年 1 0 月 1 4 日（水）午後 2 時～

場所：渋川市古巻公民館ホール

第83回国民スポーツ大会
渋川市実行委員会
設立総会

第83回国民スポーツ大会渋川市実行委員会設立総会次第

日時 令和8年10月14日（水）

場所 渋川市古巻公民館ホール

1 開 会

2 渋川市長挨拶

3 来賓祝辞

4 説明事項

（1）第83回国民スポーツ大会の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

（2）第83回国民スポーツ大会開催決定及び渋川市実行委員会発足・・・・・・・・ 7
までの主な開催準備経過

（3）第83回国民スポーツ大会開催に向けた主なスケジュール・・・・・・・・ 9

5 議 事

議案第1号 第83回国民スポーツ大会渋川市実行委員会設立趣意書・・・・・・・・ 10
（案）について

議案第2号 第83回国民スポーツ大会渋川市実行委員会会則（案）・・・・・・・・ 11
について

議案第3号 第83回国民スポーツ大会渋川市実行委員会委員名簿・・・・・・・・ 17
（案）について

6 そ の 他

7 閉 会

第 8 3 回国民スポーツ大会の概要

1 国民スポーツ大会の概要

国民スポーツ大会は、都道府県対抗、各都道府県持ち回りで毎年開催されている国内最大のスポーツの祭典で、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすることを目的としています。

昭和 21 年（1946 年）に京都府を中心に第 1 回大会が開催され、昭和 36 年（1961 年）からは、スポーツ振興法（平成 23 年（2011 年）からスポーツ基本法）に基づく重要行事の一つとして、日本スポーツ協会・文部科学省・開催地都道府県の三者共催で行われ、昭和 63 年（1988 年）の第 43 回京都大会から二巡目に入っています。

令和 5 年（2023 年）鹿児島県の特別大会まで「国民体育大会」の名称で開催され、令和 6 年（2024 年）佐賀県の第 78 回大会からは「国民スポーツ大会」に名称が変更になりました。

2 主 催

国民スポーツ大会の主催者は、公益財団法人日本スポーツ協会、文部科学省及び開催地都道府県となります。また、各競技会については、公益財団法人日本スポーツ協会加盟競技団体、会場地市町村を含めたものになります。

3 会 期（本会期）

令和 11 年 10 月 6 日（土）～10 月 16 日（火） 11 日間以内

※一部の競技は会期前競技として 9 月上旬から実施されます。

4 愛称・大会スローガン・マスコットキャラクター

（1）愛称

「湯けむり国スポ・全スポぐんま」

群馬県には全国屈指の温泉があります。温泉から沸き上がる「湯けむり」のように、熱気が湧き上がる熱戦がくり広げられてほしいという思いが込められています。

上昇を続ける「湯けむり」に上昇・飛躍する群馬県を重ね、「湯けむり」のように湧き上がる創造力とエネルギーで県民一丸となって『群馬らしさ』のある大会を目指します。

(2) 大会スローガン

「未定」

大会に携わる全ての人の一体感や開催の機運を高めていくため、大会のスローガンを群馬県出身の中山秀征さんが制作します。

(3) マスコットキャラクター

「ぐんまちゃん」

ぐんまちゃんは群馬県宣伝部長として、様々なイベントで活躍をしています。

(4) ロゴデザイン



5 実施予定競技

(1) 正式競技

ア 概要

以下の「今後の国民体育大会（2024年から国民スポーツ大会、以下同じ）の目的、性格について」に合致するとともに、わが国の各年齢層に渡って顕著な普及が認められ、国民の間に広く浸透している競技。

<今後の国民体育大会の目的、性格について>

- ・「新しい国民体育大会を求めて～国体改革 2003～」(概要版)

21世紀の新しい国体を、より競技性の高い国内トップレベルの大会として構築し、ジュニアからトップアスリートを含む幅広い競技者層を対象に競技者の発掘・育成の場として、充実・活性化の促進

- ・「国体の今後のあり方プロジェクト提言骨子」

国民体育大会は、わが国スポーツ界の中核をなす競技者が一同に会し、都道府県対抗のもとに毎年開催される国内最大・最高の総合スポーツ大会とする。各競技会は国内を代表するトップクラス層の競技者により高い水準で競われ、国際的に通用する競技力向上の一翼を担うとともに、国民各層のスポーツへの関心を高めることを目的とする。

イ 開催競技 37 競技（毎年実施 36 競技、隔年実施 1 競技）

陸上競技	水泳	サッカー
テニス	ボート	ホッケー
ボクシング	バレーボール	体操
バスケットボール	レスリング	セーリング
ウエイトリフティング	ハンドボール	自転車
ソフトテニス	卓球	軟式野球
相撲	馬術（隔年実施競技）	フェンシング
柔道	ソフトボール	バドミントン
弓道	ライフル射撃	剣道
ラグビーフットボール	スポーツクライミング	カヌー
アーチェリー	空手道	銃剣道
クレール射撃	ボウリング	ゴルフ
トライアスロン		

※第 82 回大会（令和 10 年）～第 85 回大会（令和 13 年）では、「なぎなた」と「馬術」が隔年で開催される。

（2）特別競技

ア 概要

高等学校野球（公式・軟式）を開催し、公益財団法人日本高等学校野球連盟が主管する。

イ 開催競技 1 競技

高等学校野球（硬式・軟式）

（3）公開競技

ア 概要

競技の普及をはじめ、国民のスポーツ振興を図り、生涯スポーツ社会の実現のため、正式競技以外の競技を対象に以下の条件を満たす競技。

（ア）公益財団法人日本スポーツ協会の加盟競技団体の競技であること。

（イ）当該競技団体の支部組織が、24 以上の都道府県において、当該都道府県体育協会に加盟していること。

イ 開催競技 8 競技

綱引	ゲートボール	武術太極拳
パワーリフティング	バウンドテニス	エアロビック
スポーツチャンバラ	ダンススポーツ	

(4) デモンストレーションスポーツ

ア 概要

国民スポーツ大会における正式競技、特別競技、公開競技以外の競技で、県民誰もが参加でき、生涯を通してスポーツに親しむきっかけ作りや交流の輪を広げること等を目的に行われる競技。

イ 開催競技 41 競技

ユニカール	フォークダンス	ドッジボール
なぎなた	ラージボール卓球	スポーツ鬼ごっこ
TOP OF ROC (ブレイキン)	ビリヤード	少林寺拳法
スマートフェンシング	ウォーキング	ウォーキングフットボール
群馬県ガールズU-12 サッカー	小学生ハンドボール	ボッチャ
スマイルボウリング	ジョイフル・スローピッチソフトボール	ノルディックウォーキング
みかぼ登山大会	魅力いっぱい下田ウォークでリフレッシュ	にこにこグラウンドゴルフ大会
スポーツ吹き矢	フットゴルフ	スカイランニング (ステアクライミング)
嬭恋村キャベツゲートボール大会	高山村軽スポーツラリー	片品村ウォークラリー大会
ふれあいグラウンドゴルフ大会	9人制バレーボール (屋外)	3×3
7人制サッカー	ヘルスバレーボール	大泉歴史ウォーキング
さくらウォーク	モルック	マレットゴルフ
少年サッカー	レガッタ	草津温泉ノルディックウォーキング
カヌー教室	ローンボウルズ	

(5) 全国障害者スポーツ大会 (全スポ)

全国障害者スポーツ大会は、障害のある選手が、障害者スポーツの全国的な祭典であるこの大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的としています。

国スポ開催都道府県で、国スポ大会終了後に3日間の会期で開催されます。渋川市での開催競技はありませんが、機運醸成や情報発信に努めます。

6 渋川市開催競技

当実行委員会では、以下の7競技を開催します。（一部正式決定されていません）

（1）国民スポーツ大会本大会

ア 正式競技

競技種目	種別	会場	会期
軟式野球	成年男子	渋川市総合公園野球場	令和11年10月11日 ～10月14日 ※渋川市会場は予選 のみのため10月11日
ソフトボール	成年男子	木暮組スポーツパーク 赤城（渋川市赤城総合 運動自然公園）野球場	令和11年10月7日 ～10月9日
ゴルフ	成年男子	赤城ゴルフ倶楽部	令和11年9月21日 ～9月23日

イ 公開競技

競技種目	種別	会場	会期
パワーリフティング	—	渋川市伊香保体育館	令和11年9月28日 ～9月30日

ウ デモンストレーションスポーツ

競技種目	種別	会場	会期
マレットゴルフ	—	赤城敷島マレット ゴルフ場	令和11年5～6月予定

（2）国民スポーツ大会冬季大会（正式決定されていません）

競技種目	種別	会場	会期
スピードスケート	全種別	高崎健康福祉大学 伊香保リンク	令和11年1下旬 ～2月上旬予定
アイスホッケー	成年男子 少年男子	高崎健康福祉大学 伊香保リンク	令和11年1下旬 ～2月上旬予定

国スポ競技会場市町村・実施競技

正式 正式競技 特別 特別競技 公開 公開競技 デモ デモンストレーションスポーツ

榛東村 正式 ライフル射撃〔CFP以外〕 デモ スマイルボウリング	みなかみ町 正式 ホッケー デモ 3×3	川場村 デモ ふれあいグラウンドゴルフ大会	沼田市 正式 フェンシング デモ スマートフェンシング
高山村 デモ 高山村軽スポーツラリー	昭和村 デモ 9人制バレーボール（屋外）	片品村 デモ 片品村ウォークラリー大会	みどり市 正式 バスケットボール（成女） 正式 相撲 デモ ボッチャ
中之条町 デモ フットゴルフ	渋川市 正式 ソフトボール（成男） 正式 ゴルフ（成男） 正式 軟式野球（成男） 公開 パワーリフティング デモ マレットゴルフ	吉岡町 正式 銃剣道 デモ ジョイフル・スローピッチソフトボール	太田市 正式 ラグビーフットボール（少男） 正式 バスケットボール（少男・少女） 正式 ボウリング（少男・少女） 正式 軟式野球（成男） 公開 ゲートボール 公開 エアロビック デモ 少林寺拳法
東吾妻町 正式 カヌー〔SL・WW〕 デモ カヌー教室			館林市 正式 ローイング 正式 レスリング 正式 軟式野球（成男） デモ ウォーキング
嬬恋村 デモ 嬬恋村キャベツゲートボール大会			伊勢崎市 正式 ソフトボール（少女） 正式 バレーボール（少男・少女） 正式 軟式野球（成男） 正式 卓球 公開 綱引 デモ ビリヤード デモ TOP OF ROC（ブレイキン）
草津町 デモ 草津町ノルディックウォーキング			大泉町 特別 高校野球〔硬式〕 デモ 大泉歴史ウォーキング
長野原町 正式 カヌー〔スプリント〕 デモ スカイランニング（ステアクライミング）			千代田町 正式 バスケットボール（成男） デモ レガッタ
下仁田町 デモ 魅力いっぱい下仁田ウォークでリフレッシュ			明和町 デモ ヘルスバレーボール
富岡市 正式 ハンドボール 正式 軟式野球（成男） 正式 クレー射撃 デモ 小学生ハンドボール	甘楽町 正式 ハンドボール（成女） デモ スポーツ吹き矢	高崎市 正式 テニス 正式 体操〔体操競技・新体操〕 正式 軟式野球（成男） 正式 ボウリング（成男・成女） 正式 ゴルフ（少男・少女） 正式 空手道 正式 ソフトボール（成女）	板倉町 デモ さくらウォーク
藤岡市 正式 サッカー（成男・少女） 正式 ウエイトリフティング デモ ウォーキングフットボール デモ 群馬県ガールズU-12 サッカー大会	神流町 デモ みかぼ登山大会	桐生市 正式 ラグビーフットボール（成男・女子） 正式 バドミントン 特別 高校野球〔硬式〕 デモ ラージボール卓球 デモ スポーツ鬼ごっこ	
安中市 正式 ボクシング 正式 アーチェリー デモ 少年サッカー	玉村町 デモ 7人制サッカー	前橋市 正式 陸上競技 正式 水泳〔競泳等〕 正式 自転車〔トラック・ロード〕 正式 体操〔トランポリン〕 正式 柔道 正式 弓道	明和町 デモ さくらウォーク
上野村 デモ ノルディックウォーク	邑楽町 デモ モルック	高崎市 正式 水泳〔OWS〕 正式 トライアスロン 公開 バウンドテニス 公開 ダンススポーツ 公開 武術太極拳 デモ ドッジボール デモ なぎなた	
南牧村 デモ にこにこグラウンドゴルフ大会		桐生市 正式 スポーツクライミング〔リード・ボルダー〕 正式 バレーボール〔6人制〕（成男・成女） 正式 バレーボール〔ビーチ〕（少男・少女） 公開 スポーツチャンバラ デモ ユニカール デモ フォークダンス	
藤沢市（神奈川県） 正式 セーリング			

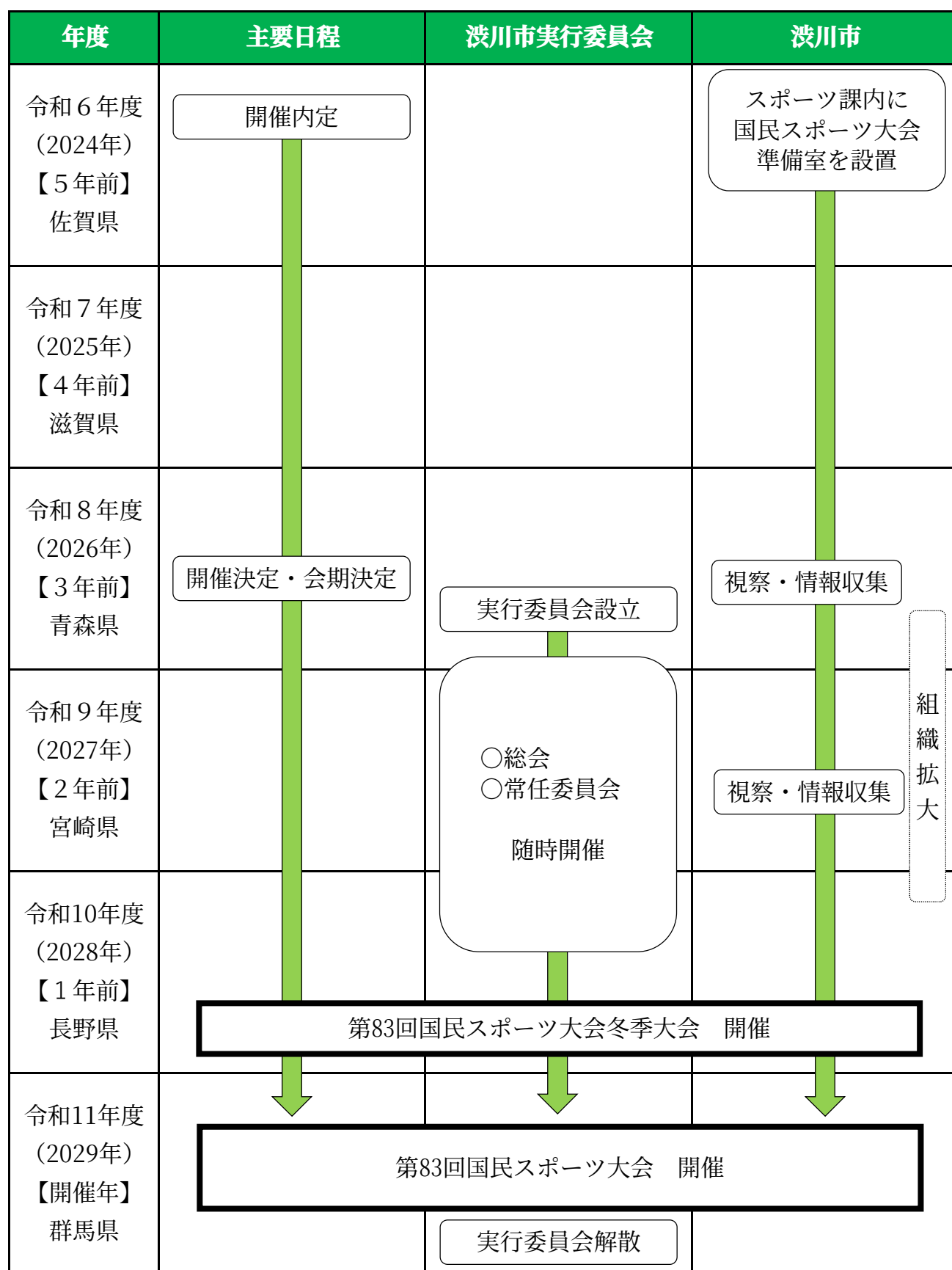
第 83 回国民スポーツ大会開催決定及び 渋川市実行委員会発足までの主な開催準備経過

年度	年月日	内容
平成 28 年 (2016 年)	H28.6.29	公益財団法人群馬県スポーツ協会が第 83 回（平成 40 年）国民体育大会招致要望書を知事、県議会議長及び県教育長に提出
	H29.2.20	群馬県議会の平成 29 年第 1 回定例会において、知事が第 83 回国民体育大会及び第 28 回全国障害者スポーツ大会を本県で開催する意向を表明
	H29.3.9	群馬県議会の平成 29 年第 1 回定例会において、「第 83 回国民体育大会の招致に関する決議」を全会一致で可決
	H29.3.21	平成 29 年 3 月教育委員会会議定例会において、県教育委員会が第 83 回（平成 40 年）国民体育大会の招致を決定
平成 29 年 (2017 年)	H29.5.24	知事、県教育長、公益財団法人群馬県スポーツ協会会長が、文部科学省（スポーツ庁）及び公益財団法人日本体育協会に開催要望書を提出
	H29.7.18	群馬県が第 83 回国民体育大会開催地として内々定 ※第 28 回全国障害者スポーツ大会も同様の扱い
令和 2 年 (2020 年)	R2.10.8	鹿児島国体の開催延期により、群馬県での開催時期の変更（令和 10 年から令和 11 年へ）
令和 3 年 (2021 年)	R3.12.1	県に競技会場地市町村の選定に係る内諾書を提出【ソフトボール（成年男子）、ゴルフ（成年男子）】
	R4.2.4	第 83 回国民スポーツ大会・第 28 回全国障害者スポーツ大会群馬県準備委員会第 3 回常任委員会で会場地市町村二次選定を決定【ソフトボール（成年男子）、ゴルフ（成年男子）】
令和 4 年 (2022 年)	R5.1.30	県に競技会場地市町村の選定に係る内諾書を提出【軟式野球（成年男子）】
	R5.3.22	第 83 回国民スポーツ大会・第 28 回全国障害者スポーツ大会群馬県準備委員会第 5 回常任委員会で会場地市町村四次選定を決定【軟式野球（成年男子）】
	R5.3.22	大会愛称「湯けむり国スポ・全スポぐんま」が発表
令和 5 年 (2023 年)	R5.10.9- 10.12	特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」の大会運営及び会場施設の視察

令和 5 年 (2023 年)	R5.11.16	中央団体による正規視察【ソフトボール競技・木暮組スポーツパーク赤城（渋川市赤城総合運動自然公園野球場）】
	R5.12.18	中央団体による正規視察【ゴルフ競技・赤城ゴルフ倶楽部】
	R5.12.20	中央団体による正規視察【軟式野球競技・渋川市総合公園陸上競技場】
	R5.12.12	県に競技会場地市町村の選定に係る内諾書を提出【パワーリフティング】
	R6.1.31	第 83 回国民スポーツ大会・第 28 回全国障害者スポーツ大会群馬県準備委員会第 6 回常任委員会で会場地市町村第 1 次選定を決定【パワーリフティング】
	R6.1.31	知事、教育長、県スポーツ協会会長が、文部科学省と公益財団法人日本スポーツ協会に開催申請書を提出
令和 6 年 (2024 年)	R6.4.1	令和 6 年度の組織機構の見直しにより、育都推進部スポーツ課内に「国民スポーツ大会準備室」を新設
	R6.7.17	群馬県が第 83 回国民スポーツ大会として内定 ※第 28 回全国障害者スポーツ大会も同様の扱いとなる
	R6.8.20	日本スポーツ協会令和 6 年度第 2 回国民スポーツ大会委員会にて愛称「湯けむり国スポ・全スポぐんま」が承認
	R6.10.5-10.8	第 78 回国民スポーツ大会「SAGA2024 国スポ」の大会運営及び会場施設の視察
	R6.12.16	県にデモンストレーションスポーツ開催希望申請を提出【マレットゴルフ】
	R7.3.3	第 83 回国民スポーツ大会・第 28 回全国障害者スポーツ大会群馬県準備委員会第 9 回常任委員会でデモンストレーションスポーツ実施予定行事選択及び会場地市町村第 3 次選定を決定【マレットゴルフ】
令和 7 年 (2025 年)	R7.9.28-9.30	第 79 回国民スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ」の大会運営及び会場施設の視察
令和 8 年 (2026 年)	R8.7.15	公益財団法人日本スポーツ協会の理事会において、第 83 回国民スポーツ大会の開催地として群馬県が正式決定
	R8.9.8	第 83 回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会及びアイスホッケー競技会の開催にあたり、県に合意書を提出
	R8.10.14	湯けむり国スポ渋川市実行委員会設立総会、総会開催

※色付き部分は渋川市に関するものです

第83回国民スポーツ大会開催に向けた主なスケジュール



第 8 3 回国民スポーツ大会渋川市実行委員会設立趣意書（案）

国民大会及び国民スポーツ大会は、昭和 2 1 年（1 9 4 6 年）の第 1 回大会以来、国内最大のスポーツの祭典として、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して、国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすることを目的として開催されています。

群馬県においては、昭和 5 8 年に「風に向かって走ろう」をスローガンとした、第 3 8 回国民体育大会（あかぎ国体）が開催されました。渋川市では、冬季大会の「スケート」、「アイスホッケー」と、秋季大会の「柔道」、「弓道」の会場地として、全国のトップアスリートによる熱戦が繰り広げられ、その姿は市民に多くの感動を与え、スポーツへの関心を高めるとともに、本市のスポーツ文化の振興に大きく寄与しました。

この度、令和 1 1 年に群馬県で開催される第 8 3 回国民スポーツ大会は、前回の「あかぎ国体」から 4 6 年ぶりの開催となり、本市では、「軟式野球」、「ソフトボール」、「ゴルフ」、「パワーリフティング」、「マレットゴルフ」の実施が決定されています。また、冬季大会として「スピードスケート」、「アイスホッケー」を実施する方向で調整しています。

本市で各競技が開催されることは、市民のスポーツへの関心を高め、さらなるスポーツ振興に寄与するとともに、活力のある地域づくりを推進し、本市の目指す「一市民一スポーツ」を実現させるうえで、極めて重要な機会となります。

さらに、温泉をはじめとした観光資源、豊かな自然環境、歴史文化、食文化など、渋川市の魅力を全国に発信し、新たな交流の機会とするとともに地域経済の活性化を図る絶好の機会でもあります。

このような意義のある本大会を成功に導くためにも、市民、関係機関、関係団体並びに行政機関などが一体となり、「オール渋川・チーム渋川」で開催準備を進める必要があることから「第 8 3 回国民スポーツ大会渋川市実行委員会」を設立し、市民の総力を結集して、所期の目的を達成しようとするものであります。

令和 8 年 1 0 月 1 4 日

渋川市長 星 名 建 市

第83回国民スポーツ大会渋川市実行委員会会則（案）

第1章 総則

（名称）

第1条 本会は、第83回国民スポーツ大会渋川市実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

（目的）

第2条 実行委員会は、第83回国民スポーツ大会において、渋川市で開催される競技会（以下「競技会」という。）の円滑な運営を期するために必要な業務を行うことを目的とする。

（所掌事項）

第3条 実行委員会は、前条の目的を達成するために、次の各号に掲げる事務及び事業を行う。

- （1） 競技会の開催に必要な方針及び計画の決定に関すること。
- （2） 競技会の開催に係る準備に関すること。
- （3） 競技会の開催に必要な施設及び設備の整備に関すること。
- （4） 競技会の開催及び準備に係る経費に関すること。
- （5） 関係競技団体、関係団体及び関係機関との連絡調整に関すること。
- （6） その他、実行委員会の目的達成に必要な事項に関すること。

第2章 組織

（組織）

第4条 実行委員会は、会長及び委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから会長が委嘱する。

- （1） 渋川市を代表する者
- （2） 渋川市議会を代表する者
- （3） 関係競技団体、関係機関及び関係団体を代表する者
- （4） 知識経験を有する者
- （5） その他会長が特に必要と認める者

（役員）

第5条 実行委員会に次の各号に掲げる役員を置く。

- （1） 会 長 1名
- （2） 副 会 長 10名以内
- （3） 常任委員 30名以内
- （4） 監 事 2名以内

（役員を選任）

第6条 会長は、渋川市長をもって充てる。

2 副会長、常任委員及び監事は、総会の承認を得て、委員のうちから会長が委嘱する。

(役員の職務)

第7条 会長は、実行委員会を代表し、会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるとき又は欠けたときは、会長があらかじめ指名した者が、その職務を代理する。
- 3 常任委員は、常任委員会を構成し、第12条第7項各号に掲げる事項を審議する。
- 4 監事は、実行委員会の財務を監査する。

(任期等)

第8条 委員及び役員（以下「委員等」という。）の任期は、委嘱されたときから実行委員会の目的が達成されたときまでとする。ただし、委員等が就任時におけるそれぞれの所属機関又は所属機関の役職を離れたときは、その委員等は辞職したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

- 2 会長は、委員等に特別な事情が生じたときは、その職を解くことができる。この場合において、会長は、必要に応じて委員等を補充することができる。
- 3 会長は、前2項の規定により委員等の変更があった場合は、次の総会において報告する。
- 4 委員等は、無報酬とする。

(参与)

第9条 実行委員会に参与を置くことができる。

- 2 参与は、会長が委嘱する。
- 3 参与は、会長が必要と認める事項について、会長の諮問に応じて助言を行う。
- 4 参与の任期等については、前条の規定を準用する。

第3章 会議

(会議の種類)

第10条 実行委員会に次に掲げる会議を置く。

- (1) 総会
- (2) 常任委員会
- (3) 専門委員会

(総会)

第11条 総会は、会長及び委員等をもって構成する。

- 2 総会は、必要に応じて会長が招集する。
- 3 総会の議長は、会長又は会長が指名した者がこれに当たる。
- 4 総会は、次に掲げる事項について審議し、議決する。

- (1) 競技会の開催に係る基本方針に関すること。
- (2) 会則の制定及び改廃に関すること。
- (3) 事業計画及び事業報告に関すること。
- (4) 予算及び決算に関すること。
- (5) 常任委員会に委任する事項に関すること。
- (6) その他重要な事項に関すること。

5 総会は、委員等の過半数の出席がなければ開会し、議決することはできない。ただし、

総会に出席できない委員等は、あらかじめ通知された事項について、代理人に権限を委任し、又は書面により議決に加わることができる。この場合において、当該委員等は出席したものとみなす。

- 6 議会の議事は、出席委員等（代理人にその権限を委任し、又は書面で議決に加わった者を含む。）の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 7 会長は、必要に応じて参与に総会への出席を求めることができる。
- 8 会長は、必要があると認めるときは、委員等へ事前に送付した議案に対して書面をもって表決を求め、その結果を総会の議決に代えることができる。

（常任委員会）

第12条 常任委員会は、会長、副会長及び常任委員をもって構成する。

- 2 委員長は、会長をもって充てる。
- 3 副委員長は、副会長のうちから会長が指名する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故のあるとき又は欠けたときは、委員長があらかじめ指名した者が、その職務を代理する。
- 5 常任委員会の議長は、委員長又は委員長が指名した者がこれに当たる。
- 6 常任委員会は、必要に応じて委員長が招集する。
- 7 常任委員会は、次に掲げる事項について審議し、決定する。
 - （1）総会から委任された事項に関すること。
 - （2）総会を招集する時間的余裕がない緊急な事項に関すること。
 - （3）専門委員会の設置及び専門委員会への付託及び委任事項に関すること。
 - （4）その他委員長が必要と認める事項に関すること。
- 8 前条第5項、第6項及び第8項の規定は、常任委員会において準用する。
- 9 常任委員会は、第7項の規定により審議し、決定した事項及び次条第2項の規定により専門委員から報告があった事項を次の総会に報告するものとする。
- 10 第8条の規定は、常任委員の任期等について準用する。

（専門委員会）

第13条 専門委員会は、必要と認める場合に設置するものとし、会長が委嘱した専門委員をもって構成する。

- 2 専門委員会は、常任委員会から委任又は付託された事項について調査及び審議し、その結果を常任委員会に報告しなければならない。
- 3 前2項の規定に定めるもののほか、専門委員会に関して必要な事項は、常任委員会に諮った上で、会長が別に定める。
- 4 第8条の規定は、専門委員の任期等について準用する。

（書面議決）

第14条 書面による議決は、次に掲げる方法により実施する。

- 1 会長は、返信期限を定めて、議案書、書面表決書及びその他資料等を委員等に送付する。
- 2 委員等は、議案について賛否を記載した書面表決書を会長に提出することによって、議案に関する議決権を行使する。
- 3 委員等は、議決権を行使するに当たり、議案の内容について質疑等をすることがで

きる。

- 4 会長は、委員等から質疑等があった場合、書面表決書の返信期限の前に、全ての委員等に対して質疑等及び回答内容を報告しなければならない。
- 5 書面議決による委員会は、期限内に委員等の過半数から書面表決書の返信があった場合、有効に成立したものと認める。
- 6 書面表決書は、委員等の署名又は記名がないものは無効とする。
- 7 議案は、書面による表決に参加した委員等の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

第4章 会長の専決処分

(会長の専決処分)

- 第15条 会長は、総会及び常任委員会（以下「総会等」という。）を招集するいとまがないとき、又は総会等の権限に属する事項で簡易なものについては、これを専決処分することができる。
- 2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、これを次の総会等において報告し、その承認を得なければならない。

第5章 事務局

(事務局)

- 第16条 実行委員会の事務を処理するため、事務局を置く。
- 2 事務局に関し、必要な事項は、会長が別に定める。

第6章 会計

(経費)

- 第17条 実行委員会の経費は、負担金及びその他の収入をもって充てる。
- (予算及び決算)
- 第18条 実行委員会の収支予算は、総会の議決により定め、収支決算は監事の監査を経て、総会の承認を得なければならない。
- (会計年度)
- 第19条 実行委員会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。
- 2 実行委員会の会計に関し、必要な事項は、会長が別に定める。

第7章 解散

(解散)

- 第20条 実行委員会は、その目的が達成されたとき、総会の議決を経て解散するものとする。
- 2 実行委員会が解散するときに有するその残余財産は、渋川市に帰属するものとする。

第8章 補則

(委任)

第 2 1 条 この会則に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

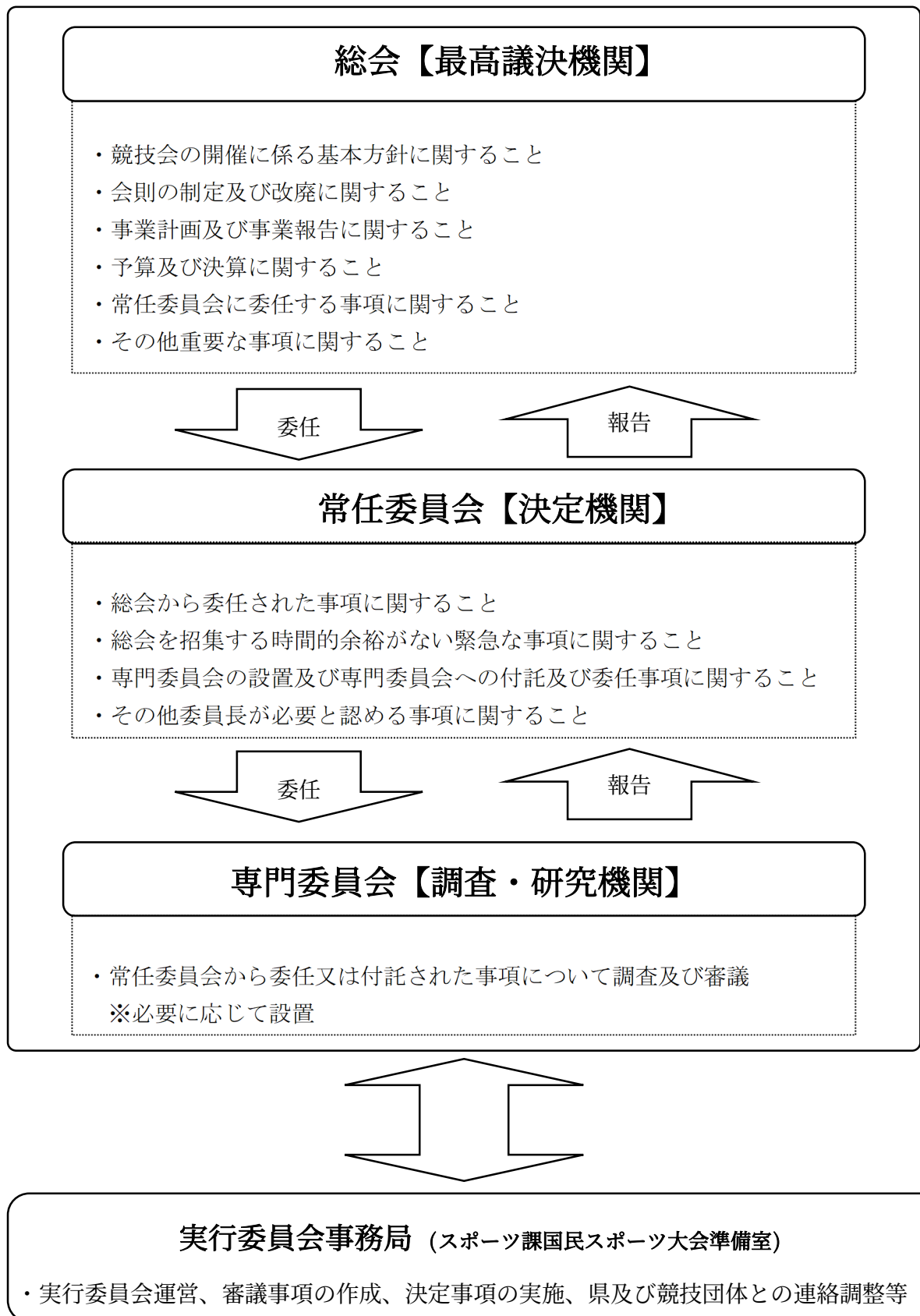
(施行期日)

1 この会則は、令和 8 年 1 0 月 1 4 日から施行する。

(経過措置)

2 この会の設立当初の会計年度は、第 1 9 条の規定にかかわらず、この会則の施行の日から令和 9 年 3 月 3 1 日までとする。

第83回国民スポーツ大会渋川市実行委員会組織図（案）



議案第3号

第83回国民スポーツ大会渋川市実行委員会委員名簿（案）

会長 1名

（順不同、敬称略）

No.	区分	所属機関・団体	役 職	氏 名
1	市関係	渋川市	市長	星 名 建 市

副会長 4名

（順不同、敬称略）

No.	区分	所属機関・団体	役 職	氏 名
1	市議会関係	渋川市議会	議長	安カ川 信 之
2	スポーツ関係	渋川市スポーツ協会	会長	水 沢 淳
3	市関係	渋川市	副市長	堀 越 正 勝
4		渋川市教育委員会	教育長	下 境 一 浩

常任委員 23名

（順不同、敬称略）

No.	区分	所属機関・団体	役 職	氏 名
1	市議会関係	渋川市議会	副議長	板 倉 正 和
2	スポーツ関係	公益財団法人渋川市まちづくり財団	理事長	堀 越 正 勝
3		渋川市スポーツ推進審議会	会長	水 沢 淳
4		渋川市スポーツ推進委員協議会	会長	田 子 誠 一
5	産業・経済関係	渋川市商工会議所	会頭	寺 島 順 一
6		しづかわ商工会	会長	松 井 等
7	宿泊・観光・衛生関係	一般社団法人渋川伊香保温泉観光協会	会長	関 口 征 治
8		伊香保温泉旅館協同組合	理事長	高 橋 秀 樹
9	競技団体関係	群馬県野球連盟	会長	樋 口 半 司
10		一般社団法人群馬県ソフトボール協会	副理事長	北 澤 篤 久
11		群馬県ゴルフ連盟	副理事長	小 林 長三郎
12	教育・学校関係	渋川市小学校長会(渋川北小学校長)	会長	高 橋 正 博
13		渋川市中学校長会(伊香保中学校長)	会長	千 川 多賀幸
14		群馬県立学校長会 渋川地区校長会長(渋川青翠高等学校長)	会長	鎌 田 英 喜
15	県関係	群馬県北群馬渋川振興局(渋川行政県税事務所 所長)	局長	都 丸 要
16		群馬県北群馬渋川振興局 渋川保健福祉事務所	所長	橋 本 雄 一
17		群馬県北群馬渋川振興局 渋川土木事務所	所長	山 木 健 一
18		渋川警察署	署長	松 村 浩 二

19	通信・輸送・交通関係	一般社団法人群馬県バス協会	会長	佐 藤 俊 也
20		一般社団法人群馬県タクシー協会	理事	諸 井 克 之
21	医療・福祉関係	一般社団法人渋川地区医師会	会長	中 野 正 幸
22	市関係	渋川市総務部	部長	星 野 幸 也
23		渋川市教育委員会教育部	部長	西 脇 正 悟

委員 39名

(順不同、敬称略)

No.	区分	所属機関・団体	役 職	氏 名
1	スポーツ関係	渋川市スポーツ少年団	本部長	酒 井 雅 典
2		渋川市小学校体育研究会	会長	生 形 学
3		渋川北群馬中学校体育連盟	会長	星 野 悟
4	宿泊・観光・衛生関係	渋川地区物産振興協会	会長	鳥 山 真
5		渋川地域食品衛生協会	会長	岸 権 三 郎
6	競技団体	群馬県野球連盟渋川北群馬支部	支部長	狩 野 弘 之
7		渋川市ソフトボール協会	会長	山 内 崇 仁
8		渋川市スポーツ協会ゴルフ部	部長	羽 鳥 智 充
9	産業・経済関係	北群渋川農業協同組合(本店)	代表理事組合長	馬 場 悟
10		赤城橘農業協同組合	代表理事組合長	齊 田 和 則
11		渋川青年会議所	理事長	生 方 麻 士
12	教育・学校関係	渋川市小中学校PTA連絡協議会	会長	金 井 卓 也
13		渋川市文化協会	会長	桑 原 昌 浩
14	通信・輸送・交通関係	東日本旅客鉄道(株)群馬事業本部・渋川駅	駅長	丸 山 日出子
15		N T T 東日本株式会社 群馬支店	支店長	田 島 裕
16	医療・福祉関係	渋川北群馬歯科医師会	会長	平 形 寿 善
17		渋川地区薬剤師会	会長	石 井 克 明
18		渋川地区広域市町村圏振興整備組合 渋川 広域消防本部	消防長	角 田 泰 紀
19		渋川市消防団	団長	石 田 章
20		渋川市女性防火クラブ	会長	齋 藤 恵美子
21		社会福祉法人渋川市社会福祉協議会	会長	萩 原 進
22	市民団体・各種団体	渋川市自治会連合会(北橘地区自治会連合会 会長)	会長	吉 田 尚
23		渋川市食生活改善推進員連絡協議会	会長	室 本 幸 子

24	市民団体・各種団体	赤十字奉仕団渋川市地区委員会	会長	會澤 美 明
25		渋川市青少年育成推進員連絡協議会	会長	杉 木 雅 宏
26		渋川ロータリークラブ	会長	関 口 理 子
27		渋川みどりロータリークラブ	会長	横 手 義 昭
28		渋川ライオンズクラブ	会長	神 道 真 吾
29		渋川中央ライオンズクラブ	会長	眞 庭 裕一郎
30	市関係	渋川市総合政策部	部長	須 田 佳 匡
31		渋川市市民生活部	部長	堀 口 幸 則
32		渋川市福祉部	部長	照 井 智 子
33		渋川市こども健康部	部長	斉 藤 章 吉
34		渋川市農政部	部長	須 田 茂 之
35		渋川市商工観光部	部長	柴 田 宏
36		渋川市建設交通部	部長	坂 井 泉
37		渋川市上下水道局	局長	柴 崎 憲 一
38		渋川市議会事務局	事務局長	佐 藤 昭 代
39		渋川市監査委員事務局	事務局長	飯 塚 芳 男

監事 2名

(順不同、敬称略)

No.	区分	所属機関・団体	役 職	氏 名
1	市関係	渋川市	代表監査委員	高 木 捷 治
2		渋川市会計課	会計管理者	生 方 保 世

参与 31名

(順不同、敬称略)

No.	区分	所属機関・団体	役 職	氏 名
1	県議会関係	群馬県議会	議員	金 子 渡
2	市議会関係	渋川市議会議会運営委員会	委員長	田 中 猛 夫
3		渋川市議会総務市民常任委員会	委員長	茂 木 弘 伸
4		渋川市議会経済建設常任委員会	委員長	反 町 英 孝
5		渋川市議会教育福祉常任委員会	委員長	高 野 佳 美
6		渋川市議会	議員	角 田 喜 和
7		渋川市議会	議員	望 月 昭 治
8		渋川市議会	議員	須 田 勝
9		渋川市議会	議員	加 藤 幸 子

10	市議会関係	渋川市議会	議員	田 邊 寛 治
11		渋川市議会	議員	山 内 崇 仁
12		渋川市議会	議員	田 村 な つ 江
13		渋川市議会	議員	後 藤 弘 一
14		渋川市議会	議員	福 島 丘 泰
15		渋川市議会	議員	高 澤 幹
16		渋川市議会	議員	埴 田 裕 之
17		渋川市議会	議員	中 澤 功 史
18	報道関係	株式会社上毛新聞社	代表取締役社長	関 口 雅 弘
19		朝日新聞社 前橋総局	総局長	星 井 麻 紀
20		毎日新聞 前橋支局	局長	上鶴瀬 浄
21		読売新聞 東京本社 前橋支局	支局長	大 野 展 誠
22		産経新聞社 前橋支局	支局長	佐 藤 克 史
23		東京新聞 前橋支局	支局長	秦 淳 哉
24		共同通信社 前橋支局	支局長	阿 部 勝 彦
25		日本放送協会 前橋放送局	放送局長	國 廣 明 美
26		群馬テレビ株式会社	代表取締役社長	堀 越 正 史
27		株式会社エフエム群馬	代表取締役社長	塚 越 正 弘
28	市関係	渋川市教育委員会	教育長職務代理者	原 澤 弘 子
29		渋川市教育委員会	教育委員	須 田 公 恵
30		渋川市教育委員会	教育委員	千 明 大 志
31		渋川市教育委員会	教育委員	根 井 勝 広

会長 1 名、副会長 4 名、常任委員23名、委員39名、監事 2 名、参与31名 合計100名

第 8 3 回国民スポーツ大会
渋川市実行委員会
第 1 回総会

第83回国民スポーツ大会渋川市実行委員会第1回総会次第

日時 令和8年10月14日（水）

場所 渋川市古巻公民館ホール

1 開会

2 議事

議案第1号 第83回国民スポーツ大会渋川市開催基本方針（案）について・・・21

議案第2号 第83回国民スポーツ大会渋川市実行委員会 令和8年度・・・・・・22
事業計画（案）について

議案第3号 第83回国民スポーツ大会渋川市実行委員会総会から・・・・・・23
常任委員会への委任事項（案）について

3 その他

4 閉会

第 8 3 回国民スポーツ大会渋川市開催基本方針（案）

1 基本方針

第 8 3 回国民スポーツ大会は、全国のトップアスリートの魅力に触れることで、スポーツへの関心を高め、「一市民一スポーツ」の実現など、生涯にわたってスポーツに親しむ機運を高め、活力ある地域づくりを推進し、本市の目指す将来像「やすらぎとふれあいにみちた”ほっと”なまち」を実現させるうえで、極めて重要な機会となります。

また、大会の開催を通じて、競技スポーツのさらなる振興を図るとともに、本市の魅力を全国に発信する絶好の機会として捉え、地域活性化や共に支え合う社会の実現につなげる大会を目指します。

2 実施目標

（１）市民参加・協働による大会

大会の成功に向けて、市民、関係機関、行政など、渋川市に関係するすべての人々が一丸となり、「オール渋川・チーム渋川」で大会を盛り上げていくとともに、喜びと感動を共に分かち合い、地域の活力を創出する大会を目指します。

（２）「一市民一スポーツ」の実現につながる大会

大会の開催を通し、市民がスポーツを「する」「みる」「ささえる」といった、それぞれの立場で大会に関わることにより、生涯にわたって気軽にスポーツに親しみ、スポーツを通じた健康増進や人・地域との交流促進の機会を創出して、「一市民一スポーツ」を実現できるような大会を目指します。

（３）競技スポーツの振興につながる大会

全国のトップアスリートの魅力に触れ、競技スポーツへの関心を高めることにより、競技人口の増加、競技力の向上を図るとともに、指導者や次世代の育成など、将来にわたる競技スポーツの振興につながる大会を目指します。

また、大会開催に向けた競技環境の充実を図ることで、次世代を担う選手の育成を担う環境の構築につなげ、未来への有益な投資となる大会を目指します。

（４）渋川市の魅力を全国に発信する大会

山や川に囲まれた豊かな自然環境、遺跡や伝統芸能をはじめとする歴史文化、こんにゃくなどの特産物や食文化、伊香保温泉をはじめとする豊富な観光資源など、渋川市の財産を全国へ発信し、地域ブランドの向上と観光振興につなげる大会を目指します。

第 8 3 回国民スポーツ大会渋川市実行委員会 令和 8 年度事業計画（案）

第 8 3 回国民スポーツ大会渋川市実行委員会の令和 8 年度事業計画を次のとおりとし、競技開催に向けた円滑な事業推進に努める。

1 会議の開催

- (1) 総会
- (2) 常任委員会

2 開催準備業務の推進

- (1) 各種基本計画の策定及び要項作成
- (2) 県からの各種調査への対応
- (3) その他競技会の開催準備に係る事項の推進

3 広報・市民運動

- (1) 啓発物品の作成による P R
- (2) 市公式ホームページ、広報しぶかわ等を活用した情報発信

4 関係機関及び関係団体との連絡調整

- (1) 県実行委員会との連絡調整
- (2) 競技団体、他関係機関との連絡調整

5 先催地の開催準備に係る調査・情報収集・研究

- (1) 青の煌めきあおもり国スポの視察
- (2) 先催地準備状況の情報収集等

第 8 3 回国民スポーツ大会渋川市実行委員会 総会から常任委員会への委任事項（案）

第 8 3 回国民スポーツ大会渋川市実行委員会会則第 1 1 条第 4 項第 5 号の規定に基づく常任委員会への委任事項は次のとおりとする。

- 1 開催準備にかかる計画策定及び進行管理等に関すること
- 2 総務、企画、広報、市民協働、歓迎、おもてなし、財務に関すること
- 3 競技、式典、施設に関すること
- 4 宿泊、観光、医事、衛生に関すること
- 5 輸送、交通、駐車場、警備、消防防災に関すること
- 6 その他会務に必要な事項に関すること